

令和元年5月31日

野々市市議会議長 中村義彦 様

(報告者)

会派名〔又は〕 公明
代表者〔議員名〕 大東 和美



政務活動報告書

下記のとおり政務活動（調査研究、研修、要望・陳情）を実施したので、報告します。

期 間	令和元年5月24日（金）
研 修 場 所	東京ビッグサイト 東京国際展示場 〒135-0063 東京都江東区有明 3-11-1
参 加 者 氏 名	大東和美
目 的 (調査・視察事項)	自治体総合フェア 2019 カンファレンスセミナー
調査・視察概要	<p>10:45 ~ 11:45</p> <p>地域を元気・・・の前にまずは地方自治体の職員の活力UP セクターを超えた“よんなな会”がつくる新たなコミュニティのあり方</p> <p>よんなな会主宰/神奈川県観光部長兼 知事室政策推進担当部長（総務省出向） 脇 雅昭 氏</p> <p>“よんなな会”の存在を初めて知った。地方においてはこれまで、一人の職員が地域おこしの事例は聞いたことがあったが、地方自治体の職員の中でやる気のある職員同士で刺激し合っていたことが驚きであった。自分が、かつて『議員がこんなに勉強しているとは知らなかった』と受けている講義の中で、講師から言われたことがあったが、私も偏見をもっていたことが恥ずかしくなった。公務員の有能さを活かすことが、これから、地方創生には欠かすことができない重要な視点であると覚醒させられた。地元に戻ってこうした目線で取り組んでみたいと思った。</p>

13:00 ~ 13:40

自治体と保育施設の架け橋『おが〜るウェブポ』ICT化による給付費算定の業務効率改善事例

岩手インフォメーション・テクノロジー株式会社

岩手インフォメーション・テクノロジー株式会社

佐々木 伸 氏

子ども・子育て支援新制度により給付費算定が複雑化、公定価格改定による再計算、施設毎の加算計算など自治体と保育施設双方の負担が増大。これらを ICT 化、給付費算定並びに申請業務削減の成功事例を紹介。

細かな業務内容をフォローしているのは民間のノウハウであり、今後はこうした取り組みをするときには、必ずと言っていいほど、民間との提携等が必要な時代になり、その勢いは想像を超える速さで、全国的な取り組みになることを想像させられた。野々市市では、保育園や認定こども園の玄関先にタブレットを置き、朝夕の預かり時間を記録している。保護者と報告連絡にスマホをすでに使っている。若い世代の情報機器の浸透と、行政の対応をもっと迅速に対応できるということに、現場の細かな業務内容を知らないといけないのは、議員の方だと痛感した。

13:50 ~ 14:50

大規模災害時の出勤・帰宅困難問題

東京大学大学院

工学系研究科准教授

廣井 悠 氏

都市部での大規模災害の出勤・帰宅困難問題は対岸の火事的立場で考えていたような気持ちになった。地方からも、海外からも、毎日のように地域のことをわからない人が多く流入している都市部での大規模災害は、そこに居合わせた人たち全員にもかかわる問題だと痛感した。被害者になるだけでなく、要援護者にもなりうると感じた。

	<p>15:00 ~ 15:40</p> <p>着眼率 98%で驚きの効果！SMS×LGWAN で安全。確実に住民連絡！</p> <p>NTT コム オンライン・マーケティング・ソリューション株式会社 NTT コム オンライン・マーケティング・ソリューション株式会社 モバイルサービス部 山口 光一 氏</p> <p>行政ネットワーク LGWAN に対応した SMS 送信サービス「空電プッシュ for LGWAN」を導入済自治体の事例と効果を交えて紹介。</p> <p>便利になるとはわかるが、公共の場合のセキュリティの問題もあり、それよりも、こうしたAI 機に対しての世代間格差は大きい。決める幹部の世代が躊躇することが目に見えてわかる。便利になるはずなのに不安が襲うのは、ついていけないということなのだろう。</p> <p>まとめ：</p> <p>今回の研修で、世界はすごい勢いで動いているということを肌で感じた。研修講座はビッグサイトの中でいくつも開催されていた。広さもさることながら、多くの人が学んでいる姿に刺激を受けた。こんなに便利な都市には便利なものが詰まっている。</p> <p>でも、この会場も広いので、前の講座から移動するのもトイレに行くのも距離がある。ビッグサイトに行くときも、階段にスロープがある場所を探すと遠回りになる。</p> <p>広い階段は真ん中にも手すりがついてはいたが、休憩する場所がない。お店に入ることが求められているよう。ベンチも水飲み場もない。すれ違う人や追い抜いていく人の歩くスピードが速くて、怖くなった。この体験から、スローライフの地方においては、ベンチや水飲み場、ヘルプマークの普及等から取り組んでみようと思った。研修内容はいずれ地方にもこうした便利なものが取り入れられるには時間差というよりは年月がかかりそう。そのときはついていけるよう、今から準備を始めておきたいと思った。</p>
備 考	

※記入欄が不足する場合は、欄を広げる等適宜調整してください。